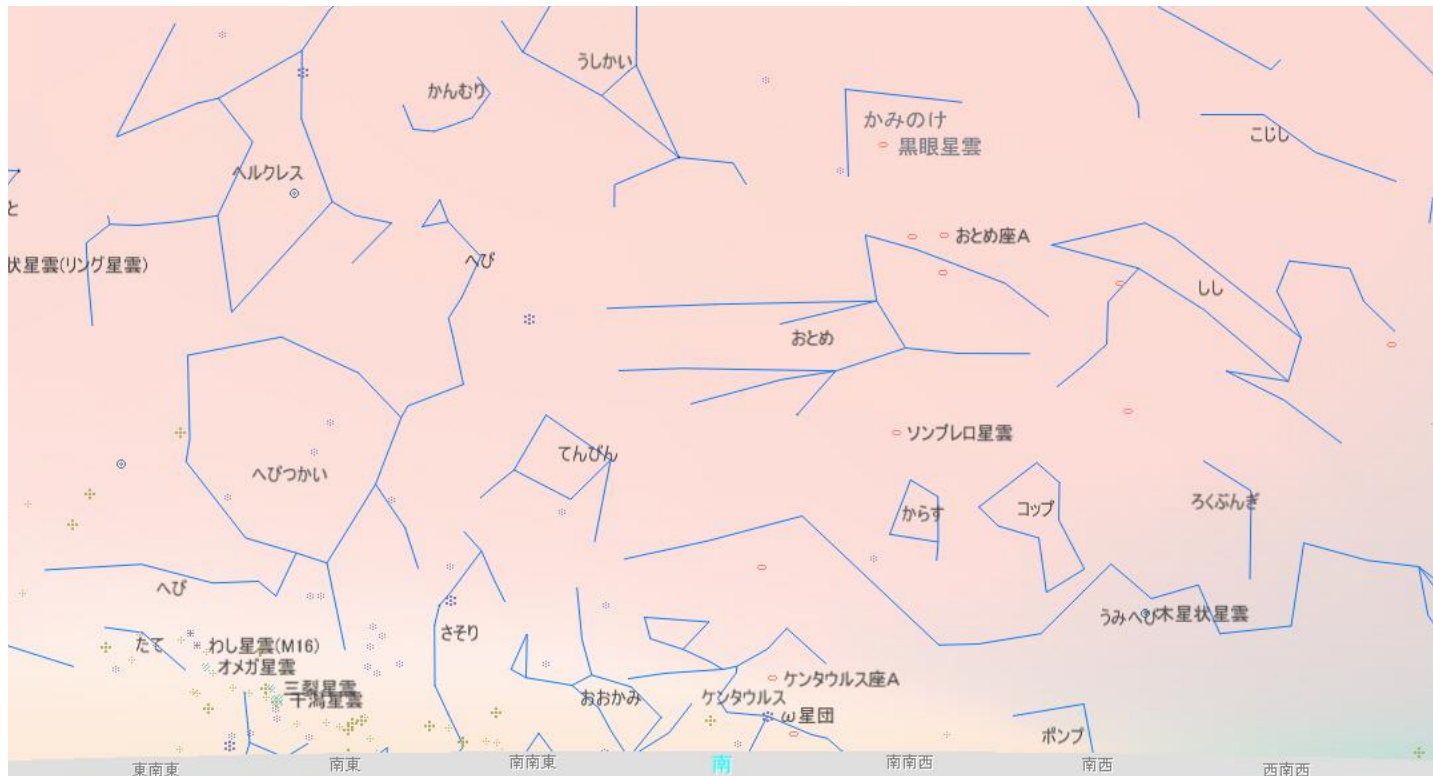


6月の夜空



東

南

2023年 6月15日 午後 8時00分

西

6月 4日12時42分：満月 ○
6月 4日20時01分：金星 東方最大離角
6月11日04時31分：下弦 ●

6月18日13時37分：新月 ●
6月21日23時58分：夏至 (太陽 黄経 90°)
6月26日16時50分：上弦 ●

室根山辺りでは日没時刻が午後7時頃になり、薄明が午後8時30分過ぎ迄で残る時期です。閉館時刻まで僅かな時間になってしまい、天文台として申し訳ない時期でもあります。



きらら室根山天文台

- ★ 住 所 〒029-1201 岩手県一関市室根町折壁室室根山1-146 TEL/FAX 0191-64-3700
- ★ 休 館 日 火・水曜日 夜間開館 金・土・日曜日 及び 祝祭日当日 と その前日
- ★ 開館時間【昼の部】13:30~17:00(4月~8月) 13:30~16:30(9月~11月) 【夜の部】19:30~21:30(4月~8月) 19:00~21:30(9月~11月)
- ★ 入 館 料 大人330円 小・中学生160円 団体(20名様以上) 大人270円 小・中学生130円
- ☆ 学校の親子行事や子ども会など団体でのご利用の場合は、休館日でもお受けすることがあります。

詳しくは、一関市役所室根支所産業建設課(0191-64-3806)まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

変化する季節感

日本の気象的な特徴に「梅雨」がありますね。子供の皆さんにはここ数年の気象庁等による「梅雨入り宣言」から「梅雨明け宣言」までの期間が「梅雨」に対する印象ということになるので、大人の持っている印象と異なると思います。かつては少雨が長期間続いて肌寒いという印象でしたが、現在では気圧配置の変化で判断するしかなくなったということです。どちらにしても、晴天率が低い（現在は曇り空が多く、線状降水帯が発生しやすい）事には変わらないので、天体観望の可能な日は貴重な時期になります。

金星

6月4日に東方最大離角を迎えます。この頃は大体午後3時に南中し、高度75度辺り（真上に近い）です。青空が澄んでいたら、肉眼で探してみましょう。日中の星を見つけると嬉しいものです。天体望遠鏡では半分に欠けた形状を見ることができます。

天の川銀河

さそり座やいて座を目にする季節です。ところで、渦巻状の星の集まりを銀河と呼びます。私達がいる地球は太陽を中心に周回しています。その太陽も遠くから見れば輝く星の一つで、渦巻（やや棒状）銀河の一員です。銀河の内側から見ている状態が普段眺めている星空です。銀河は平盤でもあるので、星が重なって多く見える方向と星が少なく見える方向があります。多く見える方向を昔から天の川と呼び、銀河の中心はいて座とさそり座の間で幅広く密集状態（バルジ）。ここ北日本では南中時でも地平線（水平線）から高度が低くて苦手な観望です。

6月 基本観望対象天体

昼の部 太陽、月、火星、金星、水星、アルクトゥールス、スピカ など

夜の部 月、火星、金星、リング星雲、球状星団、ソングレロ銀河 など

きらら室根山天文台

- ★ 住 所 〒029-1201 岩手県一関市室根町折壁字室根山1-146 TEL/FAX 0191-64-3700
- ★ 休 館 日 火・水曜日 夜間開館 金・土・日曜日 及び 祝祭日当日
- ★ 開館時間 【昼の部】 13:30～17:00(4月～8月) 13:30～16:30(9月～11月) 【夜の部】 19:30～21:30(4月～8月) 19:00～21:30(9月～11月)
- ★ 入 館 料 大人330円 小・中学生160円 団体(20名様以上) 大人270円 小・中学生130円
- ☆ 学校の親子行事や子ども会など団体でのご利用の場合は、休館日でもお受けすることがあります。

詳しくは、一関市役所室根支所産業建設課(0191-64-3806)まで、お気軽にお問い合わせ下さい。